

市民と市長が対話!

ふらっとホーム in 西区



市民と市長が、札幌を住みよいまちにするためにじっくりと語り合う「ふらっとホーム」。西区では平成25年12月4日に、札幌市生涯学習総合センター「ちえりあ」で、7人の区民の皆さんと札幌の市政やまちづくりについて意見交換を行いました。今回は、当日の様子や意見交換の内容の一部を紹介します。

問い合わせ先

- ふらっとホームに関する問い合わせ
市民の声を聞く課 ☎211-2045
- 記事に関する問い合わせ
西区総務企画課広聴係 ☎641-6925



◀サッポロスマイルロゴ

参加者全員の胸に付いているバッジは、「笑顔になれる街」札幌をイメージしたロゴマークです。

子育てや子どもの教育

さんかく
やまべ



はたなか
畑中さん

子育て支援に公園をもっと活用した方がよいのではないのでしょうか。



子育て支援に公園をもっと活用した方がよいのではないのでしょうか。公園を利用して、保育の資格者が子育ての指導をする「仲よし子ども館」がなくなり残念に思っています。外で子どもを遊ばせるためにも、

上田市長

「仲よし子ども館」は、多くの子どもが保育所か幼稚園に通うようになり、利用対象者層が減ってしまったために平成8年に廃止になりました。最近子どもが外で遊ばなくなってきたいますが、市内にある約3000カ所の公園を活用して、花や落ち葉を観察するなど、豊かで余裕のある親子関係や友達関係をつくるのが理想だと思います。

青山さん

子どもたちの放課後や休日を価値ある時間にするために、学校施設や公園、地



域のマンパワーを活用して、社会経験の豊富な大人の意見を聞く機会を充実させてはどうでしょうか。

上田市長

学校は地域の財産ですが、不特定多数の人が来る和管理上の問題があるのので、責任者を決めた上、グループで申請して使用するという手続きが必要だと考えます。マンパワーの活用は私も市長になる前に中学校で講演したことがありますし、学校ではボランティア活動など地域力を活用する取り組みも行われています。



柿本さん

学校教育の中で社会との接点をもっと増やし、地域活動に参加することが当たり前の価値観として受け入れられるような教育を進めてほしいです。

上田市長

市では、今後10年のまちづくりの指針として「まちづくり戦略ビジョン」をつくり、10年後にどんなまちでありたいかの目標として、共に助け



高齢者の福祉



みづら
三浦さん

超高齢社会に向けて、介護予防の取り組みを十分に実施してほしいですね。私はケアプランの作成の仕事をしています。必要となるときに自分の希望が伝えられるように、学習会などを開催して元気なうちから老後

イメージする機会をつくってはどうでしょうか。



合って支え合う共生の社会を掲げています。少子高齢社会に対応するためにも、支え合う社会をつくる人間力を育成したいと思っています。